

敦煌寫本研究年報

高田時雄 主編

岩尾一史 副主編
永田知之

第十八號

2024年 3 月

京都大學人文科學研究所
中國中世寫本研究會

編輯委員

赤木崇敏（東京女子大學）、荒見泰史（廣島大學）、岩尾一史（龍谷大學）、
岩本篤志（立正大學）、大西磨希子（佛教大學）、玄幸子（關西大學）、
坂尻彰宏（大阪大學）、辻正博（京都大學）、永田知之（京都大學）、
道坂昭廣（京都大學）、山口正晃（大手前大學）、山本孝子（廣島大學）

注 記

本號は編輯委員の一人永田知之が研究代表者をつとめる日本學術振興會科學研究費基盤研究（B）「中國典籍日本古寫本の書誌學的研究」の研究成果の一部である。

目 次

米國フリーア美術館藏水月觀音菩薩圖再考 坂尻彰宏・田林啓.....	1
敦煌石窟における女性の出行圖の表徴をめぐって	
——行障と坐障を中心に 岩本篤志	21
敦煌〈五臺山曲子（寄在蘇莫遮）〉寫本面貌與應用爭議辨析 林仁昱	45
『趙志集』三題 富嘉吟	57
「表狀箋啓書儀」試論	
——形成の過程及び日本の古往來との比較 永田知之	65
『記室備要』に見られる月儀	
——書儀としての性質と製作の過程に着目して 山本孝子	85
「孔子項託相問書」漢文寫本研究 高井龍	105
鍾彤濤とその著作 高田時雄	125
中國國家圖書館所藏の敦煌出土チベット語文書について（二）	
——敦煌多言語社會に關する資料補遺 龔麗坤	137
終刊の辭	151

稿約

- 一、本刊には敦煌吐魯番寫本及び中央亞細亞發見寫本に關する多様な論考を收載するが、また日本古寫本のような中國外の地域に傳承される寫本についてもその採録範圍とする。
- 一、收録論文の採否は編輯委員會の議を経るものとし、原稿の修正を求める場合がある。
- 一、本刊に掲載する論文は、日本語、中國語或いは英語で執筆するものとし、執筆様式については特段の規定を設けないが、各言語において最も普通な方式を採用する。
- 一、本刊に掲載された論文は、原則として京都大學學術情報リポジトリ（KURE-NAI）を通じて、インターネット上で公開される。

〔敦煌寫本研究年報 第十八號〕

2024 年3 月31 日發行

編 者 《年報》編輯委員會

發行者 京都大學人文科學研究所
「中國中世寫本研究會」

〒 606-8265 京都市左京區北白川東小倉町 47
Phone 075-753-6993 Fax 075-753-6999

ISSN 1882-1626